

はじめに

厚生労働省は、平成 16 年 6 月、わが国の水道関係者が共通して持つべき重点的な政策目標として、「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」の 5 項目を掲げ、その実現のための具体的な施策を明らかにした「水道ビジョン」を公表しました。

その後、日本の総人口の減少傾向及び未曾有の大災害をもたらした東日本大震災の経験等、水道を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、平成 25 年 3 月に、50 年後、100 年後の水道の理想像を具体的に示した「新水道ビジョン」が公表されました。

今後、「新水道ビジョン」が掲げる「安全」、「強靱」、「持続」という水道の理想像の具現化を図り、需要者のニーズに対応した信頼性の高い水道を次世代に継承していくためには、各水道事業者自らが中心となって水道を改善・改革するための取組を進めていくことが必要不可欠なものと考えられます。

本ビジョンは、海部南部水道企業団水道事業の現状と将来見通しを分析・評価することで目指すべき将来像を描き、その実現のための方向性を示したものです。

なお、本ビジョンの計画期間は、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間とします。

